

HOT

コミュニケーション

町の歴史を読み解く



当別町の開拓に大きく関わった吾妻家から昨年寄贈された古文書をはじめ、町内に残るさまざまな資料から時代背景を読み解く、歴史学習講座が開講しました。

第1回目は、町歴史研究専門員の倉田守さんから古文書を読み解くための基礎知識を学びました。学習会は、来年3月までに全7回開催予定で、日程は広報9月号をご覧ください。(9月30日)

吹奏楽団の指揮者を体験！



当別アンサンブルファミリーの「第20回定期演奏会」が白樺コミュニティセンターで開催されました。20回記念の企画は「おはなしクラシック」。モンゴルの民話「スーホの白い馬」を、テレビでもおなじみの金田一仁志さんの「語り」と藤女子大生の「影絵芝居」、吹奏楽の音色もコラボし、観客はくぎ付けでした。指揮者を体験できるコーナーでは、観客の4人が指揮者に挑戦。体験した当別小2年の清水愛叶君は、「棒を振って、演奏を動かすのが楽しかった」と目を輝かせて教えてくれました。(10月1日)

神居尻の山を駆け上がれ！



山野を走る中長距離走で山岳レースともいわれるトレイルランニングが当別町で開催されました。コースは道民の森神居尻地区の登山道で、昨年につき2回目の今年も天候も良く、この時期としては温かい気温の中でレースは行われました。参加者は120人で、10km・25kmのコースにそれぞれ分かれ、登山者が見守る中、山道を疾走しました。トレイルランニングとコラボ企画の札幌発当別バスツアーへの参加者も多く、レースの後にふと美銘泉で汗を流し、夕食をとり、当別での1日を満喫しました。(10月8日)

広告

広告

広告

広告

道の駅で初イベント



9月23日にオープンした「北欧の風 道の駅とうべつ」で初イベントが開催されました。北海道植樹祭の一環で、木工体験や木工品の展示販売がテント内に並ぶ「ミニテント村」は、森林を育む・親しむ「木育」を目的にしたもの。冷たい風が吹きつけるあいにくの天気でしたが、若手の狩猟愛好者が集まる「ハンターズベース北海道」のブースでは、札幌から遊びにきていた井上奏さん（小2）は鹿角アクセサリー作りを体験。「鹿の角に開けた穴に2本のひもを通すのが、難しかった」とお話ししてくれました。（10月15日）

介護状態にならないために！



町教育委員会は「いつまでも生き生きと暮らすために」をテーマに北海道医療大学との連携講座を開催しました。講師の池森康裕助教（北医大福祉学部）は介護が必要となる原因として「転倒・骨折」が5位以内にあり、健康的な生活を送るためには、下半身を鍛える適度な運動とタンパク質の摂取が大切だと講演しました。講座では、セラバンド（ゴムバンド）やバランスディスクという道具を使った下半身の運動を実践したり、タンパク質の摂取を簡単に補えるプロテインの試飲も行われました。（10月19日）



廣 告

廣 告

廣 告

廣 告